

2015年度 ドーピング競技会検査結果 一覧

(社)日本ボディビル・フィットネス連盟 アンチドーピング委員会

競技会名	開催期日	開催場所	数量	対象選手	対象選手
日本クラス別選手権・男子日本クラシック アジア大会選抜選手権 宮城県仙台市 若林文化センター	4月19日	男子クラス別	10	溝口隆広	重岡寿典
				津田宏	佐藤貴規
				片川淳	山口裕
				須山翔太郎	木澤大祐
				井上浩	越仮正敏
		クラシック	7	中西健一	石井輝男
				鎌田優	井上裕章
				竹内大生	田口俊介
				今井良平	
				男子フィジーク	6
				高野一臣	中村厚志
				長谷川浩久	齋藤真人
		女子フィジーク	3	山野内里子	清水恵理子
				澤田めぐみ	
		ボディフィットネス	3	小林有紀子	山下由美
				山本加容子	
東京オープンボディビル選手権 東京北区	5月10日	北トピア	3	ラナ ビザヤ	宮田みゆき
				柳昌永	
アジアボディビル選手権 福岡県北九州市	6月7日	西日本総合展示場	22	29名計画うち1名が病気の為途中中止、6名検査拒否	
大阪クラス別ボディビル選手権 大阪府大阪市	6月28日	エル大阪	3	杉浦博純	堀本淳治
				染川雄祐	
関東クラス別ボディビル選手権 茨城県笠間市	7月12日	笠間市笠間公民館	3	阿部ゆり	野村政盛
				渡部工兵	
東京クラス別ボディビル選手権 東京葛飾区	7月20日	かつしかシンフォニーヒルズ	3	小野田巧	岡田典子
				嶋田泰次郎	
関東ボディビル選手権 埼玉県志木市	7月26日	志木市民会館パルシティ	3	橋木亜季	加瀬幸男
				宇野賢明	
中国四国ボディビル選手権 鳥取県米子市	8月2日	米子市民文化ホール	3	西本裕也	内山操
				西村公行	
日本女子チャレンジカップ選手権 日本社会人ボディビル選手権 社会人連盟 東京都品川区	8月15日	きゅうりあん	4	大澤正	間太輔
				加藤文子	
				長田洋一	
東海ボディビル選手権 三重県津市	8月16日	津リージョンプラザ	3	長谷川渉	田代圭
				谷川千奈美	
東北・北海道ボディビル選手権 岩手県盛岡市	8月23日	盛岡市民文化ホール	3	鎌田圭	菅原佳代子
				江端健治	
ジャパンオープンボディビル選手権 栃木県宇都宮市	8月23日	栃木県総合文化センター	3	山田純子	井上裕章
				北村智昭	

東京ボディビル選手権 東京葛飾区	8月23日	葛飾シンフォニーヒルズ	3	有馬康泰 岡部謙介	橋木亜季
関西クラス別ボディビル選手権 京都府京都市	8月23日	京都パルスプラザ・	3	新藤健次 与那嶺晃一	片岡宏樹
九州クラス別ボディビル選手 福岡県築上郡	8月30日	築上町文化会館コマーレ	3	松坂博文 財全浩次	西山和仁
西日本ボディビル選手権 大阪府大阪市	8月30日	エル大阪	3	大森樹理 玉井正宏	嶋田慶太
関西ボディビル選手権 兵庫県神戸市	9月6日	兵庫県民会館	3	大森樹理 玉井正宏	岸岡智久
東日本ボディビル選手権 北海道札幌市	9月6日	かでる 2・7	3	愛宕珠子 加藤圭	松尾泰宏
九州・沖縄ボディビル選手権 佐賀県佐賀市	9月6日	アバンセ	3	坂本邦博 佐藤浩滋	WANG HAOFENG
日本マスターズボディビル選手権 広島県広島市	9月13日	広島県民文化センター	4	清水恵理子 村松幸大	難波文義 蜂須貢
北陸甲信越ボディビル選手権 山梨県甲府市	9月20日	甲斐清和高等学校	3	津軽力 磯部美穂	太田圭則
オールジャパン・ミスフィットネス メンズフィジーク・ミスビキニ 社会人連盟 東京都品川区	9月22日	きゅうりあん	5	佐藤正悟 山本加容子 中村厚志	長島ユージン 徳久大器
日本ボディビル選手権 日本連盟実行委員会 東京港区	10月12日	メルパルク東京	8	鈴木雅 小田敏郎 松尾幸作	合戸孝二 仲泊兼也 山野内里子
ジュニアボディビル選手権				原田大智	堀結華
全日本学生ボディビル選手権 東京	10月17日	東洋大学	2	中川鴻二郎 相澤飛鳥	

2015年度ドーピング違反

松尾泰宏（東日本ボディビル選手権大会・東京連盟所属）
オキシロフィン(S6.興奮薬)禁止表における特定物質、海外のサプリメント(一酸化窒素系サプリメント)に混入していたと考えられる、成分表には禁止物質の名前は認められないが、特定の団体によっては禁止される物質を含む可能性があり、自己責任に於いて摂取と記載。日本ドーピング防止規定により2年間の資格停止(2015.11.2より)

小田敏郎（日本選手権大会・愛知県連盟所属）
オキシロフィン(S6.興奮薬)禁止表における特定物質、
2016.2.19聴聞会開催、処分の決定は3月下旬の予定
日本ドーピング防止規定により2年間の資格停止予定

内海新悟（居場所情報提出義務違反）
RTPAの対象選手として12ヶ月のうちに3回居場所情報の提出を行わない場合1～2年の資格停止処分予定
本人と連絡がつかないまま居場所情報未提出を繰り返す、2015年12月にJADAより聴聞会の開催を打診されるも拒否し資格停止を受ける旨伝え引退の方向で話し合われた模様であるが、2016年1月に再度復帰の為RTPAのテストプールに入ることを願うことをJADAへ伝える。規律パネル決定の書類がまだ出ていないためJADAから報告を受けた後にJBBFの規定に沿って処分を行う予定
1回目の違反は2013年clenbuterol(クレンブテロール)2013WADA禁止表 S1.2.その他の蛋白同化薬を検出、2年間の資格停止

*注意

検査結果を陰性として発表はしない、陽性の場合のみ本人と日本連盟へ報告書が届く。その間は暫定的資格停止処分とし、後日聴聞会を経て正式な処分が下される。

競技外検査についてはJADAが日本連盟より指名の対象選手を居場所情報提出選手として抜き打ち検査をおこなう、検査結果の報告は競技会検査と同じ。